



宇城市長 阿曾田 清

神秘「不知火」が名勝地として国指定を受ける

みなさん、「不知火」についてご存じの方も多いと思いますが、このたび、この不知火（いわゆる不知火現象）が「不知火及び水島」という名称で、国の名勝に指定されることになりました。

景行天皇が巡幸の際、八代の水島で天皇に湧水を献上し、その後不知火の神秘的な火に導かれ無事上陸できたという日本書紀のストーリーに沿って、宇城市と八代市が共同で国指定申請を行ってきました。

宇城管内では「不知火」の歴史的な観望地点である不知火町永尾の「永尾劔神社」が、また、八代市管内では不知火の発生海域および水島がそれぞれ名勝に指定されました。

国からは、「不知火」が近年見えづらくなっているの国として守る必要があるとの助言をいただきましたので、今後、熊本県とともに大切に保護していきたいと思っています。

古く日本書紀によれば、景行天皇が九州巡幸をされ葦北から船出して八代海を航行中、夜になり方角がわからなくなつたときに、遠方に現れた火を目指して進むと無事着岸できたそうです。天皇がその火のことを尋ねたところ誰も知らなかったことが「不知火」の名称の由来といわれています。

不知火は、夜間無数の火（灯り）が海上に見える自然現象で、毎年旧暦8月1日（八朔）の午前1時ごろから3時ごろにかけての干潮時に八代海の沖合いに現れ、まず「親火」と呼ばれる火が出現し、それから左右に分かれて数を増やして、多数の火が横並びに並んで明滅を繰り返します。

現在は、夜半に潮が引いたときに行われる漁火の明かりが光源となつて、日中に熱くなつた海面の空気と放射冷却

による冷気が交じり合い、その空気の層がレンズとなり、光の明滅を繰り返すことが科学的に解明されています。

不知火の観望地点として、古くは宇城市不知火町高良の「龍燈場」が有名でしたが、干拓によつて不知火の発生地点が移動したため、近代以降は永尾劔神社の境内が広く知られています。

最近、八代海沿岸の明かりなどにより、不知火の灯りが見えづらくなっています。そのため国指定を契機に宇城市では、今後「保存管理計画」を策定し、この神秘的な灯りを守るための環境づくりに努力してまいります。そして松合保存会が進めておられる松合白壁土蔵の復元と併せて、地域活性化策としても地元と協力しながら進めてまいります。

※平成21年1月の市長談話は9日金の予定です。参加ご希望の方は、総合政策課（☎321111）へ12月19日（金）までお申し込みください。

市民病院便り 心臓病でどんな病気なの？（第4回）

こんにちは。宇城市民病院循環器科の掃本です。今回で4回目の連載になります。今月は、9月号の表の2についてお話しします。

2. 心筋を養う血管が悪い（心臓動脈と言わず冠動脈といいます）

→冠動脈疾患（虚血性心臓病；狭心症、心筋梗塞）

なりやすい因子：高血圧、糖尿病、脂質異常、喫煙とありました。2の狭心症、心筋梗塞は、色字のいわゆる、生活習慣病（以前は成人病と呼ばれてました）をコントロールすることが非常に重要になってきます。高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙などは動脈硬化をベースとした狭心症、心筋

梗塞、脳卒中などのリスクとなります。頭、心臓が悪いのではなく、血管が悪くたまたま、頭の血管なのか、心臓の血管なのかによって、症状、病名がかわるだけであり、動脈という血管の病気なのです。

頸動脈病変→脳梗塞

心臓（冠動脈）→心筋梗塞、狭心症

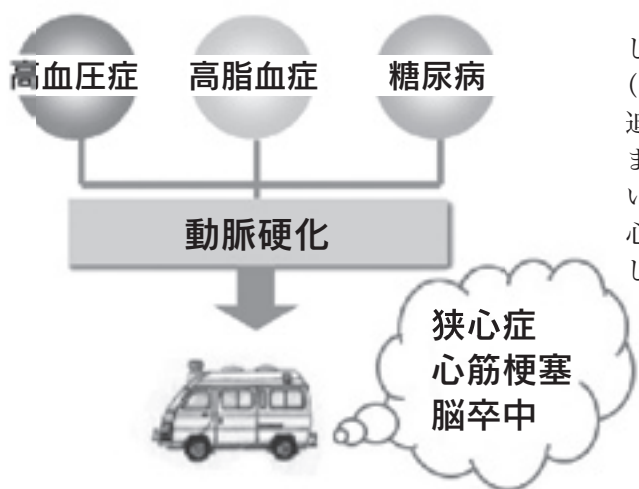
大動脈→大動脈瘤、大動脈解離

腎動脈→腎硬化症、腎血管性高血圧

下肢動脈→閉塞性動脈硬化症

この中でも狭心症と心筋梗塞についてお話ししますと、心臓の動脈つまり冠動脈に狭窄（きょうさく）があつて動いたときに胸の圧迫感を生じるのが狭心症、完全に詰まってしまつて閉塞するのが心筋梗塞です。心臓が悪いと言うより血管が悪いのです。次回は、狭心症、心筋梗塞についてさらに詳しくお話します。

熊本大学医学部附属病院 循環器内科
掃本 誠治（ほきもと せいじ）



シャノン・リー先生の

日本つれづれ日記



日本とアメリカにはたくさんの違いがあり、ここでの暮らしは私にとって毎日新しいことだらけです。良い事もあれば、迷う事もあるし、全く違う事もあります。その違いが大きくても小さくても、私たちが日常生活の中で当たり前に思っている事について考えさせられます。例えば日本では、トイレのシステムが全く違います（特に和式トイレ）。他にも、ドアの開け方も違うし（スライド式など）、赤いライトは警告のように見えます。ごくわずかな違いだと思われるかもしれないですが、これらが大きな違いを生みます。初めて日本のガソリンスタンドに行き道路に出る時、係員が車を止めてくれたのでスムーズに出ることができました。とても感動しました。また、初めてハンバーガーショップに行った時、400円のチーズバーガーで従業員が深々とお辞儀をするので5つ星レストランかと思いました。

た。今でも夢見心地です。そんな日本人の相手を敬う伝統にとても恐縮しています。

他にも日本で驚く事は多くあります。例えば郵便局のサービスが信じられないほど素晴らしい。最近、郵便局が民営化され、ここ2、3年で変わってきた事を知りましたが、手書きの手紙を尊重している事にアメリカ人として敬意を表します。世界中で、Eメールやインターネット、携帯電話などが主流になつている中で、日本の郵便サービスは最新テクノロジーとたくましく闘っていると思います。昔ながらのゴム印の消印や、香り付きの手紙はどこに消えてしまったのでしょうか？伝達や筆跡のロマンスはキーボードとメールを送る事の中に消えてしまつています。でも、日本の郵便サービスにはありますね。

アメリカでは郵政公社に限らず手紙が届くのは何日もかかるし（ひどい時はなくなります）。小包は置き去りになつていたりもあります。そして、一般的にアメリカの郵政公社は9時から5時までで、日曜日は開いていないため不便です。でもここでは、郵便局は7時まで開いているし、銀行の機能も果たしますよね。それに小包は希望の時間に届くし、街中いたるところにポストがあり便利です。こんなぜいたくなシステムのことをほとんどのアメリカ人は知りません。日本の皆さんにとっては当たり前の事でしょから、このように日本の郵便サービスについてべた褒めしている事に驚かれるかもしれませんね。でも、ここに住んでみて、文通、文具やすべての「手書きの物」を支持する私にとっては、日本の郵便サービスはどんな変わり続けている世界の中で、変わらないものなのです。

日本で生活をする中で、ほとんど日本語は話せなくても、みんなとインターネットや携帯電話で連絡が取れますが、日本の郵便サービス（優しい郵便局員さん）は、私たちが必要としている人とのふれあいを思い出させてくれます。

日本ではポストカードが翌日に届く事や、きれいな文房具があるおかげで、私はますます手紙を送る魅力に引き込まれていきます。

私はずっと古いものと新しいものが融合している日本に行つてみたいと思つていました。私から見ると、これが日本の魅力だろうと思います。毎日、日常生活の一片にさえ、郵便サービスのようないもの「は目の前にあります。アメリカでは、手紙を送ることは「かたつむり便」といわれ、時間がかかり見込みのない事とされています。でも、ここでは毎日手紙を出すことは簡単です。

あなたが最後に手紙を送つたのはいつですか？月々の請求書の中にきれいなポストカードがあつたら、わくわくしませんか？

日本の郵便サービスの便利さはアメリカに帰っても忘れないでしょう。私は時々、携帯電話を捨てて、紙とペンだけで気持ちを伝える事が出来たらいいなと思っています。これってお金では買えないくらい価値がある事だと思います。せんか？